

公表：2022 年 3 月 17 日

事業所名 かるがも園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○		職員の配置数は、基準以上の配慮をしています。その日の出席人数や状態に応じて、シフトを組んで体制を整えています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		座る場所をマットや線で視覚的に示しています。 台の高さを調整するなど子どもに応じて対応しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、新型コロナウイルス感染対策として消毒。換気・掃除を行っています。 園庭や砂場に来る小動物の衛生対応も行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	△		業務目標の設定・情報共有について今後も検討し、改善できるよう努力いたします。	振り返り、改善は尽きませんが、職員全体がPDCAサイクルを意識してよりよく改善する機会を設けることが必要だと思っております。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		公表制度に則り、事業所の評価と共に保護者の方のご意向も把握し、業務改善に繋げております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページ上で公開しております。	

適切な支援の提供	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			令和3年度より民間事業所になりましたので、今後事業所として検討を行ってまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度は zoom によるオンライン研修に参加しております。	法人研修だけでなく外部研修にも積極的に参加できる機会を設けたいと思っております。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の方からの聞き取り、活動中での観察、外部講師の助言をもとにお子様について客観的にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		津島市内の事業所で統一した書式を利用しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		朝の打ち合わせで、支援計画に沿った支援について職員で共有したうえで支援を行っております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月療育会議でひとりひとりのお子様の状況を確認し、それぞれのお子様の興味に合わせた活動になるように、話し合っております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様の状況に合わせて、個別療法や集団活動を取り入れて、児童発達支援計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の療育前に職員間で支援内容や役割分担について確認をしております。季節や活動に応じて予	

				測されうる事態にも対応できるような話し合いも日々行っております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	毎日職員間で、日々の療育の振り返り、改善を行っております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々、記録を行い、話し合っております。次の療育につながるような振り返りを行っております。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	児童発達支援計画は定期的モニタリングを行い、見直しをしております。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	状況に応じて園長・主任・担当などが参画できるようにしています。	今後 2 人以上の職員が参画できるようにしていきたいと思っております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	お子様とご家族に対して行政の関係部署、医療機関との連携を常に行っております。	今後、多職種連携の場で、質的な情報共有、支援内容を検討できるよう体制を整えていきたいと思っております。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	現在通園しておりませんが、地域の保健、医療、保育、教育との連携は密に行っています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保育所などの移行先の職員に来てもらい、親子療育の様子を見学し、懇談、情報共有を行っております。移行先に当園の職員が付きそなど相互理解にも努めております。今年度はコロナ禍のため十分な共有を行うことができませんでした。	

②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		今年度は地域の小学校への移行にあたって、就学相談や学校見学・懇談・サポート会議を通じて情報共有・相互理解を行いました。また、支援内容を文書でも共有しております。特別支援学校については、見学や懇談が難しかったこともあり、教育委員会を通じて情報共有をいたしました。	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		青い鳥医療療育センターによる療育支援事業を年４回受けています。専門的な助言や研修を受けています。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		並行通園児が90%以上のため、かるがも園としての交流はありませんが、要望があれば考えてまいります。
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		園長、主任始め、その都度ふさわしい者が参画しております。	
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		子どもとその家族に対して、健康推進課の母子保健の保健師や子育て支援課、学校教育課、医療機関との連携や情報共有を常に行っています。	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		現在、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士を講師として保護者の方のグループワークをおこなっております。その中で家族支援を行っており、今後も続けてまいります。	

保護者への説明責任等

③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園（契約時）に行っています。利用者負担については発生した都度説明を行っています。	
③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者からの丁寧な聞き取りの上、ガイドラインに基づいた計画を立て、読み合わせをしながら、丁寧な説明を心がけています。	
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に園長面談や担当職員との聞き取りの時間を設定し、園だより周知したうえで面談を行っています。また、保護者の方の気持ちに寄り添えるよう状況に応じて随時、面談しております。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子通園の時間内にも月2～3回、母子分離をして保護者同士の話し合いの場を設けるとともに毎月の父母の会、隔月のファミリー交流会でご家族同士の話し合いの場を設けています。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いつでも相談ができるよう体制を整えています。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年間予定表、毎月園だよりを発行しております。行事の目的や予定や記載し、説明をしながらお渡ししています。	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類等は厳重な保管をしています。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様の状況に応じて実物や絵カード、言葉がけなど常に配慮しております。保護者の方との行き違いがないようにメモで	

					やり取りをしております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今年度はコロナ禍であり、行事の開催を見送りました。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		ポケット緊急マニュアルを作成いたしました。緊急時の対応に役立てられるよう工夫しております。	今後、マニュアルを職員および、保護者の方にも周知していけるようにしていきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、職員と親子とで地震・火事・不審者対応の訓練を行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者の方からの情報提供書を書いていただいております	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—			
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			その日にいなかった職員が事例集を見て確認できるよう徹底していきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人で虐待防止委員会が立ち上がり、法人研修においても虐待防止及び人権擁護の研修に参加いたしました。	法人研修の内容を非常勤職員に周知できるようにいたします。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束をする事例は現在までありません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です